

令和7年度

足代小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学習活動を充実し、基礎的・基本的な学習を定着させ、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○課題に対して、真面目に取り組むことができる。漢字の読み書きや音読・四則計算などは、全体的に定着が見られる。 ●意図や目的に応じて文章を正確に読み取る力や、問いを理解し、書く力に課題がみられる。 ●問いを理解できていないことがあり、文章を読むことに対して苦手意識をもつ児童もいる。	・基礎的・基本的な知識や技能を確実に身につけることができる。 ・必要な情報を見つけだし、何が書かれているかを把握し、読み取ることができる。 ・問いを理解し、問いに合った適切な文章を書くことができる。	・タブレットを活用し、漢字や計算学習を継続的に行い、個々の学力に合った個別最適な学びによって、基礎・基本の定着を図る。 ・読む目的を明確にし、複数の情報の内容を比べ読みする際には、アンダーラインや囲み等を活用し、多様な資料から必要な情報を収集できるようにする。読書時間も確保する。 ・日記や作文等の表現活動で書き表し方の例文を提示するなどして、適切な文章を書く支援をする。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したりペアやグループ、全体で意見を積極的に発表・表現したりすることができる。（ICT機器や具体物、ノートを使用して。） ●他者の発表を受けて自分の考えと比べながら聞いたり、根拠を示して説明したりすることには課題がある。	・根拠を示して自分の考えや思ったことを書いたり話したりできる。 ・自分の考えと比べながら他者の発表を聞くことができる。 ・他者の発表を受けて、自分の考えとの共通点や相違点を見つけることで、自身の学びを深めることができる。	・児童それぞれの考えを共有する場面を増やし、自分の考えと他者の考えを比べながら再思考し、新たな自分の考えを述べることで学びを深めることができる活動を設定する。 ・話し合いを進めるときには、話型を提示したりポイントを具体的に伝えたりすることや、輪番で全員の児童に司会の立場を経験させるなど、実践の中で場の状況に対応して話す力をつけていくようにする。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業に一生懸命取り組み、自主学習ノート（プラスワン学習）に取り組むことができる。 ●学習内容を振り返り、自分の得意や不得意に気づくことや振り返りを活用して次時に課題をつなげることに課題がある。	・主体的に学習に取り組む、学ぶ楽しさや喜びを感じることができ、自信をもつことができる。 ・学習状況の振り返りをする中で、自らの課題を解決できるよう計画を立て、学習を進めることができる。	・「めあて」から「まとめ」まで思考・判断する場面を設定し、最後に学習をふり振り返り自己評価を行わせる。また、振り返りのポイントを示し、書いた内容をペアで伝え合わせるなど学習に対する自己理解を深めさせる。 ・児童の学習意欲を引き出すためにも、児童の振り返りを活用しながら次時の学習につなげていく。			